

樽商大チームがデザインなど協力

北海道キャラカード 十勝版が制作、配布

小樽商科大の教職員でつくるプロジェクトチームが発案した「北海道キャラクタ



十勝管内の観光施設で配布されている「北海道キャラクタカード」

内19市町村でつくる十勝圏複合事務組合が制作し、樽商大のチームがカードのデザインなどで協力した。

樽商大のプロジェクトチームは地域活性化を目的に2014年から、後志管内のご当地キャラクターを紹介したカードを作り、配布してきた。昨年、十勝圏複合事務組合から「十勝でもキャラカードを配布したい」と相談を受け、著作権処理の方法など制作のノウハウを教えた。

十勝版のカードは、管内全市町村を紹介した19種類。帯広市の「リッキー」や大樹町の「コスビー」などご当地キャラのほか、各市町村の人口や面積も掲載している。

樽商大のプロジェクトチームの川本雅史さんは「後志発の取り組みが、十勝で花開いた。コロナ禍で観光産業が打撃を受ける中、少しずつでも地域を元気にしたい」と話している。

(日野夏美)